

網袋を用いたアサリ養殖試験

1 目的

秋季に砂利や軽石を入れた網袋にアサリ種苗を収容し、漁場に設置すると、翌春には身入りが良く、品質の高いアサリが生産できることから、平成 29 年度は、網袋を用いたアサリ養殖の事業化に向け、網袋に入れる基質の軽量化及び育成したアサリへの害敵生物の影響確認試験を実施した。

2 事業主体

市川市行徳漁業協同組合

3 期間

平成 29 年 12 月～平成 30 年 4 月

4 場所



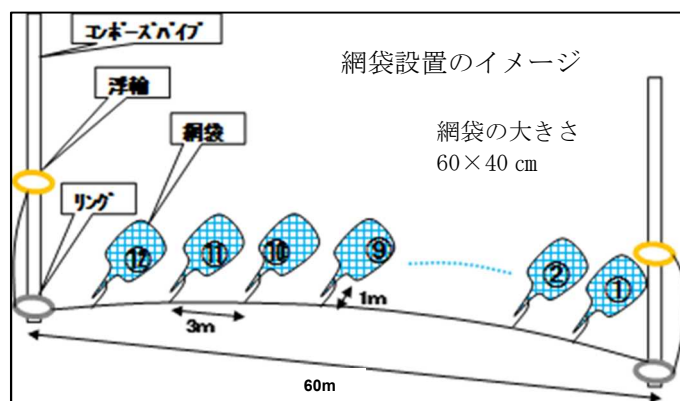
共同漁業権共第 1 号：直線で囲まれた範囲

試験場所：▲の地点

5 方法

従来型は 1 袋当たり砂利 3L 及び軽石 3L で計 6L、湿重量が 7kg あることから、軽石の割合を増やした試験区を設け、軽量化の検討を行う。また、害敵生物の影響確認のため、死殻の計数や肥満度の計測を行う（平成 30 年 3 月、4 月に追跡調査を実施）。

- (1) 種 苗・・・殻長 28 mm 以上、1.5kg/袋、計 60kg
- (2) 網 袋・・・ポリエチレン製、大きさ 40 cm×60 cm、目合 4 mm 角、計 20 袋
- (3) 設置方法・・・網袋 20 袋を 2 本のコンポーズパイプに結ばれたロープを用いて万国旗状に海底へ設置



(4) 基質の軽量化の検討

従来の網袋によるアサリ育成は基質を 6L (砂利 3L, 軽石 3L) 使用するため湿重量が 7 kgあることから作業量の軽減のために基質別の検討を行う。構成は下表のとおり。

表 1 試験区の構成

番号	基質(L)		袋数	備考
	砂利	軽石		
1	0	6	5	湿重量 4.5kg/6L
2	1	5	5	湿重量 5.3kg/6L
3	2	4	5	湿重量 6.2kg/6L
4	3	3	5	湿重量 7.0kg/6L, 従来型
合計			20	

6 結果

平均殻長 24.9 mm、695g/袋、13.9kg、肥満度 9.9 のアサリを使用して開始。種苗の採捕状況から基質の軽量化試験は中止。

3 か月後の生残率は 87%で過去 3 年間同期の 95%より若干低かった。

3 か月後の肥満度は 24.0 で過去 3 年間同期の 24.4~24.7 並みであった。

6 か月後の肥満度は 18.0 に低下した。

表 2 追跡調査の結果

日付	生残率 (%)	増重率 (%)	平均殻長 (mm)	肥満度
2017. 12. 20	—	—	24.9	9.9
2018. 3. 10	87	121	27.6	24.0
2018. 6. 5	67	140	31.4	18.0